

2021 年 9 月 7 日 (2022 年 3 月 24 日修正)

令和 3 年度 第 3 回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時：2021 年 8 月 19 日(木) 16:30-17:40

形態：ZOOM によるオンライン審議

参加者（順不同、敬称略）：

戸田泰則(支部長), 植村哲也(会計監査), 本藤克啓(室蘭幹事), 木場 隆之(北見幹事), 小田久哉(千歳幹事), グェンタン ソン(釧路幹事), 中村 基訓(旭川幹事), 柳谷 俊一(函館幹事), 村上尚史(庶務幹事), 山根啓作(庶務幹事), 田口敦清(会計幹事), 小野円佳(会計幹事), 篁耕司(人材育成幹事), 足立智(支部評議員), 本久 順一(支部評議員)

以上 15 名

欠席者（順不同、敬称略）：

なし

以上 0 名

事務局：惣伊田ゆり

議事録作成者：山根啓作(庶務幹事)

議題：

● 議題 1 次年度予算および事業計画について（資料 1, 2, 3）

- 田口会計幹事より, 令和 4 年度の予算計画について説明があり承認された.
- ✧ 北海道支部学術講演会の予稿集について, 今後は今年度と同様に紙媒体でなく電子媒体で提供する(印刷費の大幅な低減).
- ✧ なお, 予算案では支部学術講演会を対面で行うものとして経費を算出していたが, 本役員会でオンライン開催とすることに決まったことから, 再度調整を行う.
- ✧ そもそも参加費は予稿集代という名目で徴収していた. 将来的に現地開催できる状態になった場合には, 会場費の名目で適切な額を徴収するという方向で検討することになった.
- ✧ 基金の減額が生じた場合は期首残高（繰越金）で補填可能であるが、1269(千円)であることに留意が必要
- 村上庶務幹事より令和 4 年度の事業計画について説明があり承認された.

- ✧ 継続事業として学生旅費支援事業（約 50 万円）を盛り込む。
- ✧ リフレッシュ理科教室については、これまで教育企画委員会でまとめて申請という形を取っていたが、今後は学術・教育奨励基金として支部ごとに独自に申請することになった。北海道支部としては学術・教育奨励基金へ 60 万円を申請する(本部の資金不足から、学術・教育奨励基金への申請は基本的に単年度のイベントが優先され、継続的な事業を行うためには長期計画書を提出する必要がある)。
- ✧ 2021 年度のホームページリニューアル事業と絡め、オンライン教材コンテンツ制作の場としての活用を検討していることを盛り込む。

● **議題 2 2022 年 1 月開催予定の北海道支部学術講演会について（資料 4, 5）**

- 村上庶務幹事より 2022 年 1 月開催予定の北海道支部学術講演会の実施形態について説明があった。
- ✧ まず、ジュニアセッションはオンラインの形態で行うことが確認された。
- ✧ 室蘭幹事の本藤克啓先生より、既に会場の確保はしてあることが報告された。
- ✧ 講演会の実施形態について対面、オンライン、ハイブリッド（複数会場で対面を実施し、オンラインで繋げる案）のどの形態で行うか議論が行われた。対面で行うとした場合、今後の感染状況の推移によってはオンラインに切り替えざるを得ない状況もあり得る。その際の混乱を避けるため、2022 年 1 月の北海道支部学術講演会はオンラインで開催することになった。
- ✧ 室蘭工業大学主担当でオンライン開催が可能かについて室蘭支部内で議論して頂くことになった。

● **議題 3 学術・教育奨励基金補助事業へのリフレッシュ理科教室申請について（資料 6）**

- リフレッシュ理科教室の予算について本部で大きな変更があり、学術・教育奨励基金について戸田支部長から説明があった。
- ✧ 他支部は寄付金等が充実している。これまではこれらの収入は一旦本部に収められた後に各支部に分配される形になっていたが、より支部の裁量を反映する形式に変更された。
- ✧ 今後は次年度への繰り越しや支部ごとの寄付金利用など予算に対する支部の裁量は高くなる。
- ✧ 現状では北海道支部への寄付金はごく限られているため、リフレッシュ理科教室を継続するためには学術・教育奨励基金に応募せざるを得ない。
- ✧ ただし、学術・教育奨励基金の原資は約 5 年で枯渇するとされ、リフレッシュ理科教室を継続するためには独自に寄付金等の資金を獲得するなど何らかの対策を行う必要がある。
- 村上庶務幹事から学術・教育奨励基金補助事業へのリフレッシュ理科教室申請について説明があり、承認された。

- ✧ 申請額満額は認められない見込みであるが学術・教育奨励基金補助事業に申請する.
- ✧ リフレッシュ理科教室としては 4 会場を予定.
- ✧ 北見会場では大学のみ予算で行うことができるため,リフレッシュ理科として基金への申請はしない(リフレッシュ理科教室の名前を使うことに関しては要相談). 以下木場先生よりの補足説明.
 1. そもそも北見工大と北見市教育委員会の連携事業に相乗りする形で始まった事業である.
 2. 過去リフレッシュ理科教室の予算繰りが難しいという話があった時に, 教員向け理科教室支援事業として予算を受け 開催した(2018 年). しかしながら 2019 年に予算を打ち切られた. こうした経緯から, 理科教室に対して応用物理学会から予算的な援助を受けることは今後困難になる認識が学内であった.
 3. 基本的には対面実施にこだわっており, オンラインコンテンツへの貢献が難しい. リフレッシュ理科教室として学術・教育奨励基金に申請する場合にはオンラインコンテンツの充実を目的の一つにしているため, 目的に分離がある.
 4. これらを鑑みて, 北見会場については少なくとも次年度学術・教育奨励基金補助事業には応募しない.

報告事項:

● ホームページリニューアル事業について (資料 7)

- ホームページリニューアル事業について村上庶務幹事より報告があった.
- ✧ 応用物理学会 Annex サーバ内のアクセスに経験のある業者に発注予定
- ✧ ジュニアセッションの申し込みも新ホームページの中で行うことを検討することになった.
- ✧ リフレッシュ理科教室の様子を撮影した動画を掲載することは有効であるが, 諸権利(著作権, 肖像権等)について検討をしておく必要がある.

以上